

病院見学を随時受け付けています。

希望する日時・診療科目をお知らせください。

診療科目 (28診療科)

救急総合診療科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、消化器内科、肝・胆・膵内科、循環器内科、リウマチ科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、形成外科

<http://www.oitasekijyuji.jp/>

詳しくは公式HPをご覧ください。

大分赤十字病院

検索



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

大分赤十字病院

〒870-0033 大分県大分市千代町3丁目2番37号 TEL 097-532-6181 FAX 097-533-1207 <http://www.oitasekijyuji.jp/>
医療連携・患者支援センター 097-540-6167(直通)

HOSPITALITY

— 気持ちで届けるもてなしのこころ。 —

研修医

Medical Intern



 日本赤十字社 大分赤十字病院
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity



message from

私は、昭和53年に卒業して九州大学第二外科という所へ入局しました。国試の発表前の4月1日から採血・点滴・手術の助手・カルテ書きなど、何も分からず何も出来ない中で、看護師さんたちの厳しい指導のもとに病棟で働き始めました。

幸い国試に落第せずに勤務を続けることが出来たのですが、国試の発表が終わってから働きだした同級生に「お前の所はひどいな～」と言われたのを記憶しています。非常に忙しい科で、研修医が半分になる夏休み



の1週間は、「お前はフラフラしているが大丈夫か」と上の先生が心配してくれるほどでした。

医師を続けていけば、技術や知識はいずれ身に付きます。私にとっての最初の1年間は、「医師として働く」という意味、その厳しさを叩き込まれた貴重な時間だったと思いますし、あの1年間があるからこそ、これまで医師として働いてこられたのだとも思います。

「最初の数年間が医師としての人生を決める」と言われます。頑張ってください。

院長 / 本廣 昭

副院長・統括外科部長 / 福澤 謙吾

新しい臨床研修医制度になり多くの研修医の諸君と接してきました。なんといっても嬉しいのはやはり自分達が指導していった研修医の方々が、成長していった姿を実感できる時です。正にゼロからの出発であった彼等が、病棟だけでなく救急の場の第一線で生き生きと仕事をしている姿を見ると頼もしく思います。

研修医は指導医から教えられるだけでなく、先輩の研修医や同期の研修医からどんどんと吸収し伸びていきます。一方向からの指導で得られるものは非効率的

であり、インタラクティブな教育環境が必要です。

当院では、研修医の諸君がローテーション科以外の各診療科の先生方にも気軽に質問している姿をよく見かけます。中規模病院の良さの一つは、医師同士が研修医を含め全員の顔を知っているということです。どんどん分らないことを先輩に質問して伸びてほしいと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



大分赤十字病院の理念

an idea

人道・博愛の精神に基づく
心のこもった医療・看護を提供し
全ての人々の幸福を追求します

私たちの使命

a mission

救急・災害医療、がんの診療、
生活習慣病における
急性期診療において
最善の医療を提供します

病院の概要

- 開設者 — 日本赤十字社 社長 近衛 忠輝
- 開設年月日 — 昭和27年4月
- 病床数 — 340床
- 建物 — 地上6階
- 職員数 — 609人(平成30年4月1日現在、常勤職員)※パート除く

医師 86人 ※歯科医含む ○内臨床研修医16人(内歯科1人)
医療技術職員 80人 ○薬剤師16人 ○診療放射線技師14人 ○臨床検査技師17人
○臨床工学技士7人 ○理学・言語・作業療法士13人
○管理栄養士7人 ○その他6人

看護師 328人
事務職員 77人
看護助手等 38人

- 診療科 — 28診療科
救急総合診療科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、消化器内科、肝・胆・膵内科、循環器内科、リウマチ科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、形成外科

- 特殊外来 — 緩和ケア外来、糖尿病クリニック、炎症性腸疾患外来、乳幼児健診、予防接種外来、肝・胆・膵センター、ボツリヌス毒素療法外来、WOC外来(ストーマ、褥瘡、尿失禁)、CAPD外来、腎臓療法選択外来、口腔腫瘍外来

- 患者数の状況 (平成29年4月～平成30年3月実績)

1日平均入院患者数	病床利用率	1日平均在院日数	平均外来患者数	紹介患者数(初診)	紹介率	逆紹介率	救急患者数	救急車搬送台数	手術件数(手術室)
277人	81.5%	9.8日	494人	6,564人	59.8%	78.5%	6,686人 月平均557人	1,980台 月平均165台	1,959件 月平均163件

認定施設一覧

●学会認定医制度に基づく研修教育施設
日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本糖尿病学会認定教育施設、日本感染症学会認定研修施設、日本呼吸器学会認定臨床研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本リウマチ学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、

日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設、日本呼吸器外科学会専門医関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医制度修練施設A、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本透析医学会専門医認定施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医基幹教育施設、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器科腹腔鏡技術認定研修施設、日本神経学会教育関連施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本病理学会登録

施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本口腔外科学会認定医制度専門医・指導医研修施設、日本口腔外科学会関連研修施設、日本口腔ケア学会認定施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
●その他認定施設
地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)、第二次救急指定病院、臨床研修指定病院(基幹型、協力型)、歯科臨床研修指定病院、大分県 HIV 診療協力医療機関、結核モデル病床設置医療機関、労災指定病院、日本医療機能評価機能認定病院(3rd G ver.1)

診療部

MEDICAL DEPARTMENT

広く、深い経験が
医師として道を歩む
大きな自信に。

+ 研修プログラム

医師としてのプロフェッショナルリティを養う。

初期研修の2年間に於いては、プライマリ・ケアと緊急医療に重点を置いた研修を行います。研修医にとって漫然とした研修にならないよう各ローテート科において到達度チェック試験を実施し、きちんと知識を整理しつつ研修を行ってまいります。

指導医が「臨床に対する熱い思い」をマンツーマン方式で伝えられるようにカリキュラムの充実を図り「当院で研修を受けたい、当院で働きたい」という病院本来の目標に沿うようにハード・ソフト両面からの体制づくりを進めています。

研修ローテーション

1年目は内科24週、救急科8週、外科・小児科・産婦人科・精神科各4週とし、2年目は地域医療4週、残りは選択とする。但し、1年次での履修状況によっては、研修プログラムの到達目標達成のために必要な診療科を自由選択期間に履修してもらう場合があります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 ^{※1}				救急科 ^{※2}				外科・小児科・産婦人科・精神科 ^{※3}			
2年次	地域医療 ^{※1}				選択(将来専門とする診療科を中心に関連の診療科)							

※1.一般外来は内科及び地域医療との平行研修(4週)とする。

※2.救急科は8週のほかに2年間で月2回程度の救急当直を行うことで合計12週以上とみなす。

※3.小児科、産婦人科、精神科は研修協力病院・協力施設での研修となる。

●研修協力病院・協力施設

国立病院機構・別府医療センター、大分県立病院、臼杵市医師会コスモス病院、津久見市医師会立津久見中央病院、お元気でクリニックこれいし、唐津赤十字病院、小清水赤十字病院、大分県赤十字血液センター、大分大学医学部付属病院、大分こども病院、帆秋病院

●選択した科の途中での変更は研修管理委員会の了承を経て可能とする。

message from

初期臨床研修は、医師の生涯を支配する、強烈な印象が刻み込まれる時です。その人の臨床家としての姿がここでできます。だからこそ沢山の研修病院の中でどこにするかを悩むのは当たり前です。

大分赤十字病院は救急・災害医療、がん診療、生活習慣病を軸にした急性期総合病院です。340床の病床数で内科全般、外科、整形、産婦人科、泌尿器、救急部など28科におおよそ80名の常勤医をかかえ、多くは大分大学と九州大学医局からの派遣医師です。各科とも

研修医に対してなるべく沢山の症例を経験させ、多くの手技を習得させるように上級医による熱心な指導を行っています。

2年目の研修を終了した後は、大学医局に入局して大病院または関連施設で専門研修に入るケースが多いですが、そのまま大分赤十字病院で働きたいという要望を多く聞きます。卒後3～6年目の若い医師が多く、彼等が直接指導してくれる熱気あふれる環境です。

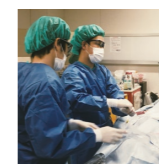
副院長・プログラム責任者 / 金田 幸司



研修医のリアル Q&A 気になる質問に大分赤十字病院の医師・研修医が本音で答えます!

Q1 大分赤十字病院を選んだきっかけや決め手はどんな点ですか?

- 地元・大分で医師になりたいという思いがあったのと、市内中心部にある病院という点に魅力を感じた点と、忙しい仕事なので職場が街に近いとオンもオフも充実させやすいと思ったのがきっかけです。
- 症例数が多いことや先生方の指導がとても丁寧だという評判を、大学時代の先輩から聞いていたからです。
- 病院見学の時に研修医の先生方がイキイキと仕事をされている姿を見て、自分もこの環境で学んでみたいと思いました!



Q2 実際にこの病院を選んでよかったと思うところはどんな点ですか?

- 症例数が多いのはもちろん、それに対して指導して下さる先生方の数も多いのでとにかくいろいろな疾患を勉強できることです。
- 手技をたくさん実践させてもらえるところ。内視鏡、挿管、CVなど研修医が確実に身につけて置かなければならないことをたくさん経験できます。
- 2年間の研修医期間でなんでも身につくと思います。自分がすすみたい専門科を見極めるうえで最適な環境だと思います。

Q3 医師・看護師の方々や、研修医同士など院内の雰囲気はどうですか?

- 困ったことやわからないことなどがあっても、どの先生も丁寧に教えて下さるし、ただ方針を指導するだけでなく、ちゃんとこちらにも考えさせてくれるので、勉強になります。
- コメディカルの方々や医師・看護師の関係がいいので、わからないことを誰に質問しても丁寧に教えてもらえるところが心強いです。
- 研修医専用の「研修医室」があり、先生には常識すぎて尋ねづらいことも、先輩研修医や同期の仲間に気軽に相談できる、オアシスの空間です!



Q4 仕事とプライベートのバランスはうまく取れていますか?

- 学ぶことは多岐にわたるので忙しいのは確かですが、早く帰るときはちゃんと早く帰れるし、オンとオフのバランスがとれた忙しさを送ることができています。
- 趣味などの予定も立てやすいし、休日などの融通はききやすいと思います。自分の時間の使い次第で、プライベートも充実させることは充分できますね。

Q5 目指す「医師像」は?

- 「この先生なら大丈夫」と信頼される医師です。そのため今しっかり勉強して救急時や難しい症例にも対応できるようになりたいです。
- 研修医期間が終わっても、今の緊張感をずっと忘れず精進していける医師になりたいです。
- 患者さんや先輩・後輩医師からも「先生なら信頼できる!」って思ってもらえるような医師を目指したいです。



先輩からのメッセージ



研修医 H30卒
小山 旅人先生
研修医として、楽しく学びやすい環境のなかで、自分の目指す医師としての姿を目標に、充実した研修医期間を過ごせると思います。ぜひ一緒に頑張りましょう!



研修医 H29卒
和田 萌美先生
指導医の先生をはじめ看護師などいろいろな方が教えて下さり「学ぶ機会」にあふれた環境です。医師として高めあっていきたいと思います。



呼吸器内科医 H26卒
宮崎 周也先生
大分赤十字病院には、知識と情熱を持った良い先生方やスタッフの心強いバックアップ体制があります!ぜひ充実した2年間を過ごしてください。

+ 救急医療

拡充と充実を目指しています。

当院は救急・災害医療、がん診療、生活習慣病を軸にした急性期病院です。救急医療については、拡充と充実を目指しています。平成21年からICUを設置し、(平成30年6月にHCUへ変更)救急部兼任スタッフの増員のほか、救急部専従医が勤務しています。救急とプライマリーケアの習得に最適な環境が整っています。



盛んな
勉強会

救急医療

豊富な
症例数

快適な
環境

+ 研修医室

快適な環境を完備

当院の研修医室には各自の机、本棚、インターネット環境、台所、仮眠室等が完備されています。そこで常時15名前後の1年目、2年目の研修医がまさに「同じ釜のめしを食い」、お互いの絆を深めながら研修を行っています。



+ 勉強会

大きく近づく医師への道

当院では勉強会を盛んに取り組んでおり、単なる講義形式ではなく研修医参加型の勉強会を行っています。研修医1年次・2年次を対象にしたミニレクチャーや当直時に困った、勉強になった症例を研修医が発表する救急症例検討会を行い、救急症例の体験を皆で共有し、臨床力向上に努めています。テーマは全研修医にアンケートを行い決定しています。



+ 豊富な症例数と指導医

当院は市内中心部にある唯一の公的病院で、内科、外科とも症例数が多く専門医の為の幅広い症例体験が可能です。

勉強会テーマ

- 輸液について
- 救急における画像診断
- 腹痛の入院判断
- 危険な心電図
- 聴診、身体診察のコツ
- 救急外来での神経診察
- 骨折の読影と対応の仕方
- ショック時の対応
- 消化器疾患の救急対応
- 喘息、肺炎の初期治療
- 縫合の仕方
- シーネ固定のコツ、脱臼の整復
- 抗菌薬について
- 胸痛の鑑別
- 不明熱の考え方
- 救急外来での創処置+フォローアップ
- ICU管理について
- 心エコーについて

他



春の花見に始まり、スポーツ大会、医局旅行、ビールパーティ、新年会など職員との交流も盛んで、なんでも相談できること、診療科間の垣根が低くコミュニケーションが取りやすいことも大分赤十字病院の特徴です。



ワークライフ バランス

老若男女すべての職員がやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすと同時に、子育てや介護、家庭、社会貢献、自己啓発などの個人の時間をもち、健康で豊かな生活を送れるよう支援します。育・産休制度などの利用者が増加している中、仕事と私生活の調和を取りながら、能力を十分に発揮できるような職場の環境作りを進めています。



日本赤十字社は、厚生労働省から次世代育成支援対策推進法に基づき、職員の子育て支援に取り組む企業として2009年と2012年に認定を受け、認定マーク「くるみん」を取得しました。

研修医 処遇

給 与	1年次 月額330,000円(諸手当込400,000円程度) 2年次 月額340,000円(諸手当込420,000円程度)
勤務時間	1週間の勤務時間38時間45分 (8時30分から17時10分まで 休憩時間55分)※宿直明けは午後から帰宅可
休 暇	土・日・祝日・夏期休暇・年末年始休暇 その他特別休暇制度

福利厚生

社会保険	健康保険、厚生年金、企業年金基金、雇用保険、労災保険
各種見舞金	結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金など
生命保険	グループ保険、総合医療保険、積立年金
クラブ活動	野球、テニス、バスケットボール、駅伝など

など

アクセス

大分交通バス

JR大分駅前から新川経由行きに乗車「日赤病院入口」下車→徒歩3分

タクシー

JR大分駅前から約5分(2km)

